

Kane-no-ne

川越商工会議所青年部会報誌

鐘の音



青年部 KAWAGOE

川越商工会議所青年部とは

平成18年(2006年)5月29日設立。川越に集う青年経済人に「互いの知性や感性を磨き合い、新たな発想や活力を生み出す場」を提供することを目的とし、次代の川越商工会議所と川越市経済界、そして埼玉県西部地域の更なる発展を推し進めていくことを念頭に活動をしています。

PR TIME

西部地区

株式会社アライズ 高崎正夫さん

川越市の石原町と南台で障害者就労支援事業所を運営しております、株式会社アライズの高崎正夫と申します。

私共は、様々なハンディキャップがある故に就職が叶わなかった方々を雇用しております。現在は、古本の回収販売・マンシヨンの定期清掃、農作業等の仕事を行っていますが、40名を超える方々の受け取る給料はまだまだ少なく、自立して生活をする上で将来を大変危惧しています。

そこで、私共は新たに仕事を創り、収益を増やして給料を上げていく事を目指すために、ポスティング事業を開始しました。複数の事業所を一元化する為、一般社団法人「あすなるサポート」を立ち上げ、企業様からご依頼頂きましたチラシを配布しております。

あすなるポスティングの特徴としては、企業様のチラシと一緒に我々のチラシを配布させて頂く事があります。そのチラシには当方の理念と、仕事を依頼して頂いた事により、障害者の雇用が進んでいる事が記載されております。

お客様のCSRのお役にたてると思えます。

チラシを配布する機会がございますましたら是非ご連絡下さい。



第16回 臨時全体協議会報告

10月21日(金) 川越水川会館 桂の間において、第16回臨時全体協議会が南部地区担当により開催されました。本年は2年に一度の役員改選期にあたり、立原雅夫会頭、小谷野和博担当副会頭のご臨席を賜り、厳粛な雰囲気の中粛々と議事が進行いたしました。

島崎部長が議長に就任し進行していただきました全体協議会においては、第1号議案 次期部長承認の件で当南部地区より(有)サン自動車川越の肥沼靖久さんが、第2号議案 次期役員承認の件では東西南北各地区と情報発信室・企画開発室・組織活



ご挨拶をする肥沼次期部長



次期副部長、幹事の皆さん

性化室をそれぞれ担当される副部長7名と各地区・室の幹事18名の総勢25名が選出され承認いただきました。

議事終了後には肥沼次期部長の挨拶があり、青年部の現状に対する想いや課題に対する取り組みなども聞かれました。肥沼次期部長も話を聞く会員の方々も背筋が伸びるような緊張感と次期に対する期待が交錯する瞬間であったのではないかと思います。

懇親会は会場を鳳凰の間に移し、引き続き立原会頭と小谷野

副会頭にご臨席いただき盛大に開催されました。歓談中には私たち南部の会員であります(株)Tommy Enterpriseの富澤貴明さんによる「マジックショー&実践スクール」が行われました。マジックショーではプロマジシャンである富澤さんの本物の技を堪能していただき、実践スクールでは身近にあるティッシュや紙幣を使用したマジックを参加者の皆さんに学びながら実践していただきました。年末の忘年会シーズンに役立てていただくことはもちろん、物事を一方からだけではなくいつもとは違った方向から多角的に見ることによって問題解決のヒントが見つかる、という目的を掲げてのマジックでしたが、富澤さんのプロの技は間近に見ても後ろから見ても問題解決には程遠い、まさしく職人芸でありました。

また次期役員がステージに勢揃いし次期副部長の方々からもご挨拶いただきました。緊張感の中にもやる気が漲る言葉一つ



富澤さんによるマジックショー

ひとつに各地区や室を引っ張っていくという決意や覚悟が感じられました。

全体協議会冒頭に立原会頭、懇親会では小谷野副会頭にご挨拶をいただきました。青年部そのものや次期に対する期待感が込められた温かい言葉をいただき、10周年の祝賀会や青年部の将来に向け気持ちを新たにしたい会員も多かったことと思えます。

最後に、ご多忙の折駆けつけていただいた立原会頭と小谷野副会頭、早い時間からご参加いただきました会員事業所の皆様、陰で支えていただきました事務局の栗原・須山両氏に心より感謝申し上げます。

南部地区

New Face

新入部員紹介

Topics



北部地区
有限会社 新広社
代表取締役
藤田 哲也 さん

本年9月、川越商工会議所青年部に入会させていただきました、有限会社新広社の藤田哲也と申します。若輩者ではございますが、何卒よろしく願いたします。

弊社は川越市役所脇に位置し、広告代理業を営んでおります。業務内容は印刷物（チラシ・ポスター・パンフレット等）や看板・サインなど広告物全般を取り扱っております。何かご用命の折は、お気軽にお声掛けくださいますようお願いいたします。

私自身は、川越生まれの川越育ちで石原町あたりに潜んでおります。街で見かけてもカプセルとか投げつけないでくださいね、中に入るのが大変なので。

この入会を機に、地元地域に貢献し、また少しでも会員の皆様のお役に立てるよう努力して参る所存ですので、今後とも何卒よろしく願いたします。

小江戸川越ハーフマラソン2016が無事終了いたしました。

11月27日（日）、心配されていた天気も大きく崩れることなく、ランナーにとっては絶好のコンディションの中、小江戸川越ハーフマラソン2016が開催されました。

大成功だったという、反省会での横田実行委員長からのお言葉もありましたが、私達青年部が担当する部分についても、今までの経験や知恵・対応力・チームワークなどを活かした、スムーズな運営ができたのではないかと思います。皆様大変お疲れ様でした。



「修行部」第1回活動報告

新たに発足した「修行部」第1回修行として、11月2日19時より西雲寺様にて写経の会が開催され、総勢26名の方にご参加いただきました（東部4名、西部4名、南部13名、北部3名、情報2名）。

ご住職より写経の意味や心構え、写経時の姿勢（原則正座！背筋を伸ばして、無言）などをご説明いただき、さっそく写経開始。机にはお経の上に半紙が重ねられており、一文字一文字心を込めて筆ペンでなぞる比較的“初心者向け”の方法で実施しました。

とはいえお経の文字は画数も多く、慣れない筆ペンと和紙での写経は高い集中力と根気をとまなう作業でした。周りを見渡すと、みな黙々とお経を書き写しており、修行部のテーマである「非日常」の光景が広がっていました。

早い方で30分、丁寧な方で50分程度、末尾に願ひ事と氏名を書いて写経は終了です。その後、参加者全員でご本堂に移動して納経し、ご住職の教えに従い正座し、蠟燭の明かりだけの真っ暗なお堂の中で木魚を叩きながらお経を唱える「願掛け」を体験させていただきました。足の感覚がなくなったか、「南無阿弥陀仏」が言えなくなってきたり・・・これもなかなかの修行でした。

西雲寺様、貴重な場をご提供いただき、誠にありがとうございました。

願ひ事、叶うといいな。



次回、第17回全体協議会、10周年祝賀会は2月17日（金）の予定です。

川越商工会議所青年部 登録事業者数 214社 (平成28年12月現在)

- 川越商工会議所青年部 会報誌
『鐘の音』第51号 平成28年12月8日発行
編集・発行責任者 川越商工会議所青年部
副部長 情報発信室 松ヶ角 尚人
- 情報発信室
幹事：牛村／大野／土金
一川(直)／京野／近藤(孝)／近藤(武)／櫻井
富澤／馬場／本多／矢野／吉田(雅)／吉田(康)

「小江戸川越ハーフマラソン」が終わると、あっという間に年の瀬を迎えます。今年、川越商工会議所青年部設立10周年の節目を迎え、これまでの青年部の歴史を振り返る機会が多い一年でした。現在、登録事業者数は200を超え、設立当初とは異なる運営上の課題もあるように思います。去る10月21日に開催された臨時全体協議会において、次年度の役員が選出され、ご入会から日の浅い方でも、ご活躍の機会があることは、とても素晴らしいことだと思います。

青年部活動に於いても、主体的であることは重要だと思っています。主体的であるからこそ、時に意見の違い等でもぶつかることもあります。それもまた楽しいと思える組織であれば良いと思います。私自身は、青年部入会以来、三期六年間務めた情報発信室員としての最後の一年を締めくくべく、自分なりに室活動に専念してきました。自社の事業との兼ね合いで十分な働きができたかどうかはわかりませんが、意見を交わし、多くの方々との新たな交流を重ねる中で、有意義な時間を過ごすことができています。

年末に向けて、まだまだ忘年会が続くという方も多いと思いますが、ビジネススマンな体調管理が出来ないと自己管理能力を問われます。皆さん、健康でよい年末を迎えましょう！自戒の念を込めて。

情報発信室 一川 直子

編集後記